

ノウフクフォーラム in 夷隅が2月中旬、千葉県いすみ市で開かれた。主催は、夷隅圏域の2市2町と関係機関でつくる夷隅地区自立支援協議会の雇用就労部会。講演や事例発表を通じて、農福連携をどう実践するかを探った。100人余りが参加した。

事例発表では、同市の障害者就業・生活支援センターピア宮敷が「高秀牧場菜花プロジェクト」を紹介した。同市の高秀牧場は、高齢化などから2018年に食用ナバナの栽培を終えた。ピア宮敷が障害者

ナバナ栽培事例発表

千葉県いすみ市でフォーラム

農福連携どう実践

の力を生かすことを提案し、4福祉事業所の参加でプロジェクトを開始。同牧場から畑の提供を受け、19年10月に種をまき、12月末から収穫・出荷を始めた。地域の高齢者でつくる菜花ガールズが指導役を担う。出荷は3月初めまでで、これまで黒字で進んでいると報告した。

農水省の基調講演や全国の事例紹介、福祉事業所によるナバナや加工食品の販売もあった。(ちば)

展示販売も行われた会場
(千葉県いすみ市で)



日本農業新聞 2020.2.25